

坂越浦の礎を築いた北前船廻船物語



兵庫県 赤穂市
坂越のまち並みを創る会

1 社会資本の概要

江戸時代、瀬戸内海有数の廻船業地だった赤穂市坂越。その坂越のまちは、波静かな坂越湾に浮かぶ原生林「生島」を取り囲む山々と、その山裾の海辺に連担する港まちの面影を伝える集落のたたずまいが調和して、絵のように美しい光景を保っています。昔は門が建ち、門番が朝夕開閉して町を守っていた



坂越の海岸とまち並みの風景

た「木戸門」跡から坂越港へと続く石畳の坂越大道には、当時の面影を色濃く残すまち並みが続きます。また、安全で潤いのある海岸の創出とまち並みとの調和をテーマに高潮や高波から町を守り、防災機能を十分確保しながら親水性に配慮した穏やかな傾斜の海岸に整備されています。



坂越港に通じる坂越大道沿いのまち並み

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

坂越地区の文化的・歴史的環境を最大限に生かしながら、伝統ある美しいまち並み景観を「守り、創り、育てる」ことを目指し、活動を行っています。

まずは、市民の皆さんにも「北前船寄港地坂越浦」の馴染みが薄かったため、北前船の歴史を理解していただくことから、歴史講座の勉強会を実施しまし

た。幼稚園児や小学生を対象とした歴史の勉強会も定期的に実施しています。

また、昔この地で行われていた「坂越の嫁入り」や「曳きとんど」等の伝統芸能文化を復活させることにより、お年寄りには懐かしさを、子供達には伝統を伝え、周辺のまちには魅力を発信しています。



北前船歴史講座の開催状況



坂越の伝統芸能文化の「坂越の嫁入り」の復活

3 活動の成果や波及効果等

坂越の活動拠点である「旧坂越浦会所」への観光客の入館者数は、平成6年は約3千人でしたが、平成28年は約2万人に増え、現在までの入館者数は20万人を突破しました。また、大阪や東京、近隣からの定住者も増え、古民家活用にも寄与しています。

全国各地で開催される「北前船寄港地フォーラム」に出席し、全国の「北前船寄港地」関係者と交流を深めています。



旧坂越浦会所への入館者20万人を突破した瞬間



古民家を活用してできたカフェ

所在地
兵庫県赤穂市坂越

活動主体及び連絡先
坂越のまち並みを創る会
<http://www.ako-sakoshi.org/>

対象となる社会資本
赤穂市道坂越線・坂越港ふるさと海岸整備事業
※管理者：赤穂市・兵庫県

喜びの声



受賞者

坂越のまち並みを創る会
代表 門田 守弘

コメント

坂越のまち並みを創る会全員で頂いた賞として大変光栄に思っています。これからも坂越にある、お宝をより磨き、より輝かす「住んでよかった」「来て観て良かった」と言わせる、身の丈に合ったまちづくりに挑み続けます。

活動内容

まち並み景観保存活動・清掃活動・ボランティアガイド・歴史講座など

活動の経緯

- 平成4年 会の発足
- まち並み景観保存活動
- 平成21年 ボランティアガイド開始
- 平成25年 花いっぱい運動
- 平成26年 伝統芸能文化の復活「坂越の嫁入り」など
- 平成27年 北前船寄港地坂越浦地域交流事業

